

白山ふるさと文学賞

第三回 白山市ジュニア文芸賞 受賞作品

【暁烏敏部門】〈作文「母へのおもい」〉

小学生低学年の部 最優秀賞

ははへのおもい

松陽小学校一年

宮川 みやかわ

菜々 なな

わたしのおかあさんは、まいにち、あさはやくから、ゆうがたまで、かなざわのうつきというところで、やさいづくりや、しゅうかくのべんきようにいっています。あついひでも、いっしょうけんめいがんばっています。すいか、あかいかぼちゃ、みどりのかぼちゃ、ふといきゅうり、あかやきいろのピーまんじ、にたばぷりかというやさいなどをつくっています。また、いえのはうすでは、なす、ピーまん、おくら、けんぎきなんば、みずな、こまつな、ちんげんさい、だいこん、ぼっちゃんかぼちゃ、めろん、きゅうりをつくっています。きゅうりはかたにいられて、ほしがたやはーとがたとかをつくってくれました。いえのよこのはたけでは、ねぎ、ほうれんそう、さつまいも、とうもろこしなどもつくっています。いろいろな、やさいをつかっておいしいおかずをつくってくれます。おみせで買ったのちがいきゅうりなどは、そのばですぐたべても、みずみずしくて、おいしいです。いま、おとうとはわたしと、あさは5じ30ふんごろに、じいじのところに来ています。おとうとは、おかあさんとはなれるのがさみしいみたいで、なんかいもはぐをしています。わたしもさみしいですが、おかあさんもがんばっているのです。わたしは、がまんできます。おやすみのときは、おかあさんは、とてもつかれているのに、わたしたちふたりといっしょにいてくれます。

わたしは、おかあさんがだいすきです。1ねんかんのべんきようがおわっていえでやさいづくりをするときは、わたしもおかあさんのてつだいをし、おかあさんをたすけたいとおもいます。
がんばれ、おかあさん。

